

CCTG200

トランスミッタ型 コールドカソードタフゲージ

概要

CCTG200はカソード電極を加熱する事で、従来では対応できなかった電極汚染の防止、及び超高真空領域での安定放電を実現した世界初の真空計です。



特長

- **電極加熱**
 - 超高真空領域での安定放電（放電し易い）
 - 電極汚染の防止
 - ☆ 耐ハロゲン系ガス
 - ☆ 耐有機EL材料
- **低漏洩磁束**
 - 機器への磁束の影響が少ない（ビーム曲がり等）
 - スパナ、金属部品等が引き寄せられないので作業性UP
- **コンビネーションモード機能（オプション）**
 - ピラニ等のアナログ信号が取り込み表示（7セグ）及びコンビネーション動作が可能

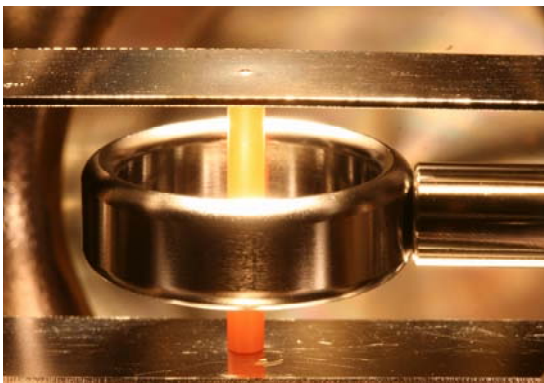


主な仕様

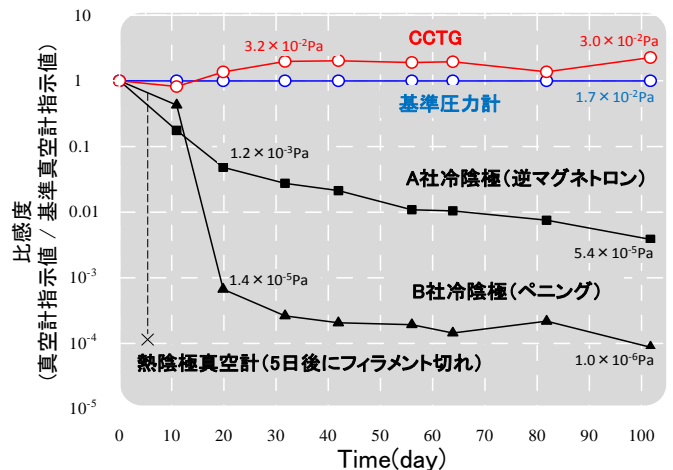
入力電源	DC24V, 1A	放電電圧	3kV~500V最適制御 (計測圧力に最適な電圧に自動制御)
動作範囲	1×10^{-7} Pa~0.1Pa	デジタル入力	測定開始、デガス、タフモードON/OFF
脱ガスモード	カソードを約700°Cに加熱	デジタル出力	セットポイント2系統、アラーム
タフモード	測定時常時加熱機能（カソード温度を300°C, 500°C, 600°C に設定可能）	アナログ入力	0-10V：コンビネーションモード用
漏洩磁束	ケース面で100G以下	アナログ出力	0-10V Log(対数), LIN, COMP
シール部材料	ハイトシール (CCTG200-001)	通信	RS232C
	ハイトシール (CCTG200-002)	型式	CCTG200-001：NW25 アルミホッティ CCTG200-002：NW25 SUSホッティ CCTG200-003：ICF70 SUSホッティ
	メタルリングシール (CCTG200-003)		

※ コンビネーションモード機能(オプション)付の型式は、CCTG200C-00x となります。

加熱中のカソード



フッ素系エッチングガス(CF₄+O₂混合ガス)中での感度変化



注) 本グラフのデータはCCTG100Sによるものです。